



1996年度卒業論文題目

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/1751

1996年度 人間関係学科卒業論文題目一覧

- | | | |
|-----|-----|-------------------------------|
| 藍 | さやか | 揺れる華人アイデンティティー～シンガポール華人をめぐるって |
| 足立 | 阿紀 | 業績主義とオカルト・ブーム |
| 安富 | 香織 | 「許せない人々」 |
| 穴本 | 千穂 | 結婚の多様化と未婚化現象 |
| 今川 | 啓子 | もっと自由に生きるために～現代消費社会の限界と展望 |
| 占部 | 真希 | 『鏡の中の少女』の作品分析～嗜癖としてとらえられた摂食障害 |
| 大久保 | 多津子 | 『学校の中の現実』～学校に囲まれた教師と生徒 |
| 岡 | 絵美 | 学習による文字の類似度空間の変化 |
| 岡田 | 依子 | 子どもの消費 |
| 岡本 | 聖子 | イスラム都市 |
| 小田 | 恵 | 「女らしさ」「男らしさ」について |
| 小野 | 雅子 | 幼児の慰め行動の研究 |
| 尾曲 | 久美子 | 2つの音からなる和音の音程による気分効果について |
| 川村 | 智津子 | 顔の表情認知におけるプライミング効果 |
| 菊川 | 智津子 | 留学生から見た日本～規範意識の比較 |
| 金 | 英蘭 | シオニズム |
| 木村 | 郁子 | トルコのイスラム |
| 草田 | 麻記子 | ワイドショーはなぜおもしろいか |
| 古村 | 笑美 | 自己実現を可能にする成長について |
| 雑賀 | 久美子 | 「ケガレ」考～伝統社会と現代社会 |
| 佐々木 | 昌子 | 幼児における特性理解の発達 |
| 成 | 英姫 | 韓国的情緒の土壌に関する研究～未練・自虐・情・恨を通して |
| 田中 | 麻紀 | 新宗教のゆくえ～信仰の世代間継承 |
| 中嶋 | 彩乃 | 日本語の漢字2字熟語における単語優位効果 |

- 中 束 智 美 パーソナリティ特性としての内的作業モデルと対人場面でみられる特性の関係について
- 名 倉 久美子 『風と木のうた』の作品分析～境界例心性をめぐる考察
- 西 川 由起子 大量消費社会におけるごみ問題とその解決にむけて
- 西 田 純 子 猿岩石の旅～虚実のはざままで
- 野 寺 木綿子 企業組織における期待と現実のギャップに関する一考察
- 橋 本 咲也香 現代若者についての一考察～友人関係の希薄化を考える
- 林 直 子 贈与とその文化的背景
- 平 山 実 里 ユダヤ人入植者とパレスチナ・アラブ人～イスラエル国家建設に至るまでの両社会の変化と対立
- 前 田 祐 子 医療現場における医師－患者関係のあり方について～インフォームド・コンセントの理念に即して
- 牧 敦 子 『友情について』
- 松 尾 美 佳 最近の広告のカタチに見る
- 松 久 優 子 時間についての一考察～効率的場面と効果的場面における時間規範
- 棕 本 友 子 19世紀イギリスにおいての労働者の生活状況
- 八 木 里 美 日本文化論～その誤解と現実について
- 安 口 通 代 子どものモノへの〈こだわり〉～子どもと消費を考える
- 山 元 恵 子 真の豊かさを実感するために
- 山 本 淳 子 境界例に関する一考察～『順子』の症例研究を通して
- 吉 野 久実子 きょうだい関係と母子関係～TATと質問紙を用いて
- 若 松 千代子 大学生における友人関係の性差
- 渡 部 郁 子 新世紀エヴァンゲリオン作品分析～僕がここにもよい理由
- 垣 下 嘉 江 ドナの世界～ある自閉症者による記録から
- 山 崎 妙 フリッパーズギター解散の真相～共依存としてのフリッパーズ
- 渡 邊 敦 子 ストレスについての一考察

『十年史草稿 添付書類』

・卒業式 自第一回至第七回・入学志願者、入学許可者・学校一覽・入学案内及受験者心得・入学式、始業式、其の他・職員生徒物故者追悼式綴 自昭和三年至昭和八年・沿革年表、職員異動表、十年間ノ日記抄・見学及修学旅行・教科圖書表自大正十三年至昭和九年度・新年拝賀式、紀元節拝賀式・卒業生府県別出身学校一覽。

(19) 高橋次義「高等女学校高等科・専攻科に関する一考察」、国士館大学教育学会『教育学論叢』四、一九九六。

(20) 前掲『大阪女子大学五十年史』一九七六、八一―二頁、九六頁。

(21) 大阪女子大学「大阪女子専門学校規程」、『大阪女子大学五十年史』所収、一九七六。

(22) 昭和二年～昭和四年「大阪女子専門学校案内昭和五年度版」より、昭和五年～昭和七年「大阪女子専門学校案内昭和八年度版」より、前掲『十年史草稿』所収。

(23) 同上。

(24) 「大阪府會學務部予算委員會速記録第參號」昭和七年。

(25) 大阪府内務部編『大阪府會史第三編』上・下巻、一九三三。

(26) 文部省『日本帝国文部省第五八年報』

(27) 前掲『大阪府會史第三編』上・下

(28) 「入学志願者並入学許可者出身学校別表」、前掲『十年史草稿』所収。

(29) 金蘭會『大手前百年史』、一九八七

同様の議論が明治期の府会内でなされ、梅田高等女学校においては、管内出身者と管外出身者では学費が違っている。

◎明治四二(一九〇九)年本科・補習科の授業料の格差

市部在住者 二二円／郡部在住者 二四円／管外出身者 三〇円

(30) 「北海道府県ニ於テハ高等女学校ヲ設置スヘシ」、「高等女学校令」第二条より。

(31) 「通常大阪府會學務部審査委員會速記録第壹號」、昭和九年。

(32) 「通常大阪府會學務部予算委員會速記録第參號」、昭和七年。

(33) 「通常大阪府會速記録第拾號」、昭和九年。

(34) 「本校予科廃止ノ困難ナ理由」、前掲『十年史草稿』所収。